にのさかクリニック広報誌　発行月　2024年 5月

ひまわり

No.335号

医療法人
にのさかクリニック
福岡市早良区野芥4-19-34 FAX092-872-1137
TEL 092-872-1136
ホームページ http://www.drnino.jp/
ブログ https://ameblo.jp/ninosakaclinic/

今年６月の診療報酬改定について

　この春クリニックの受付では、新たなメンバーを加え、新体制をスタートさせました。“いつも変わらず、同じ顔がそこにある”ということは、患者さんに安心していただける大切なことだと思って頑張ってきましたが、これからのクリニックのことを考えて増員しました。末永く、これからもどうぞよろしくお願いします。

　医療保険は２年に１回、介護保険は３年に１回、制度の見直しが行われています。ちょうど今年は医療と介護が同時に改定される年のため、各事業所では６月の施行へ向けた準備を進めています。

　外来診療で今回特に大きく仕組みが変わるのは、脂質異常症、高血圧症、糖尿病の三疾患に関わる指導管理料です。診療報酬（点数）は大きく変わらないものの、看護師や管理栄養士、薬剤師や歯科医師など、多職種との連携を図りながら、より総合的な治療が求められるようになります。

　また、物価高騰への対策として、新たに点数が加えられました。医療や介護の分野は、他業種と比べると対策が遅れていると言われていますが、物品の仕入れ価格上昇、光熱費や燃料費高騰の影響を受けています。社会全体で人手不足が問題になっていますが、クリニックでも人材確保が大きな課題となっています。

　国は、今年１２月に健康保険証の発行を終了させることを正式に発表しました。クリニックでは、マイナ保険証による資格確認をご利用いただけます。診療費のことやマイナ保険証のことなど、分からないことがございましたら、受付にお声かけください。（にのさかクリニック 受付一同）

健康教室のご案内

毎週火曜日　第3週のみ金曜日
13時～14時 場所／にのさかクリニック
参加無料

健康教室はしばらくのあいだおやすみします。再開が決まり次第、この紙面でお知らせします。

在宅ホスピスフェスタ2024（午後の部：在宅ホスピスを語る会 in 福岡）

3月17日(日) アクロス福岡(オンラインでも同時配信)

「在宅ホスピスフェスタ２０２４」より、今回は午後の部「在宅ホスピスを語る会in福岡」を要約してご紹介します。

第１部「面会制限がある中、家族とともにおこなったグループホームでの看取り」

コロナ禍で面会制限が厳しいなか、グループホームあおいに入居している母親の最期の時を家族一緒に過ごすことができた話です。

［生前の母・施設での看取りについて］　娘さん

両親共に優しい性格で、夫婦喧嘩をしている姿を見たことがなく、怒られた記憶もないほど。父方の祖父・祖母の看取りの時、母が献身的に見ていたのを覚えています。
その後、父が先に認知症になってしまい、母が自宅で介護をするようになりましたが、次第に鍵のかけ忘れや薬を飲ませるのを忘れるなど、母自身が失敗を繰り返すようになり、ある日家の中で転倒し骨折。その時父を看てもらえる施設を探すために相談をしたケアマネジャーの紹介で入所した施設がグループホームあおいです。
新型コロナの感染拡大をきっかけに母と一緒に暮らすようになりましたが、孫の好きなアニメソングを一緒に歌ったり、讃美歌をたくさん歌って過ごしていました。
しかしある日、異変に気付いて行った検査で脳梗塞が判明しました。左半身が不自由になってしまった母はリハビリしていた病院を退院後、父と同じグループホームに入居することになりました。その後、尿路感染症からの高熱によるてんかんで入院、一時は多臓器不全で余命宣告を受けましたが、再びグループホームに戻ることができました。のちに誤嚥性肺炎からかほとんど口から食事できなくなり、いよいよ人生の最終段階となった時、家族や親戚が何度も面会できたことは幸せでした。母が大好きだった讃美歌をそばで歌うと、母の口が動き出すようになり、声も少しずつ出てきて一緒に歌えるようになりました。
次第に点滴も入らなくなり、目の焦点が合わず呼吸が止まる状態を繰り返すようになりましたが、母のそばで聖書を読み、讃美歌を歌う等して最期の大切な時間を一緒に過ごすことができました。

［施設と連携する訪問看護ステーション］　訪問看護ステーションはな 平野頼子さん

グループホームあおいへの訪問看護は週に一回、入居者の健康管理をはじめ施設職員から出る介護相談へ助言等も行います。
入居者の心身状態の変化が起きる度、施設長や介護スタッフと看取りも見据えた話し合いを繰り返し行っています。認知症の方にとっての入院は、環境の変化から強いストレスになり、時には食事が取れなくなってしまうほど深刻な状態に繋がることもあるため、可能な限りの医療処置は施設で行うようにしています。
グループホームで施設看取りを行う上で大切なことは、「ご家族からの希望があれば看取りの時にはそばにいて一緒に過ごすこと」「認知症であってもその人の人格、尊厳を大切にすること」の２点、生活する場所での看取りには、過剰な医療処置をしないことが、本人にとって苦痛なく自然な最期を迎えることができると考えています。

［看取りに入った頃からの様子］
グループホームあおい介護主任
本庄みゆきさん

グループホームでも面会制限をかけており、1度に２～３名の少人数での受け入れ、時間制限もあったため、交代しながらの面会でしたが、途中からは制限なく部屋に入れるようになりました。
お父様を交えて一緒に写真を撮っている様子や、和やかに話をされている姿を見て、貴重な時間を作ることができたと振り返ってみて思います。グループホームと同じ敷地の中には、家族が泊まれる建物があり、そこで家族が休息を取りながら面会されていました。
今回の看取りのケースでは、ご家族、訪問看護ステーション、グループホームが一つのチームとなり良い看取りができたこと、家族の絆や愛情を感じ、「最期まで家族と一緒に生ききるんだ」という強い意志を感じ取ることができました。

第２部「在宅ホスピスボランティアが見続けてきた在宅での看取り」

ご自身の父親を在宅で看取られた経験から、その後第1期「在宅ホスピスボランティア養成講座」を受講、受講生の仲間と共に「在宅ホスピスボランティアの会手と手」を立ち上げ、活動を続けられているグループ代表の林和恵さんからの話。
ボランティアの自宅訪問をコーディネイトしている当院ソーシャルワーカーの寺町と共に、今回は独居で在宅療養されている方へのボランティア事例を2例紹介しました。

［独居で在宅療養中の方へのボランティア］
在宅ホスピスボランティアの会手と手代表
林和恵さん

事例１：90代女性のNさんには、約1年間ほどボランティア4名が交代しながら、お話相手・お手伝いを週1回訪問しました。
はじめは寝室から自力で居間に移動して、ソファで話をされていましたが、病状の悪化とともに、寝室のベッドに横になられているそばで話を伺うようになりました。
自分の人生を語ったり、自分がしたいことしてほしいこと、思いがはっきりされている方でしたので、その思いを共にし、支えたいと思い活動していました。

事例２：80代男性のTさんには、ボランティア5名が2人ずつ交代で入りました。
ご本人の希望により、一人で過ごす時間の身の回りのお世話や見守り、環境の整備等を行いました。居心地良く過ごしてもらうことを大切に考え、好物の差し入れ等は大変喜んでいただきました。

それぞれの事例二人とも共通して「家で最期まで過ごしたい」という強い意志、覚悟がありました。しかし、在宅医や訪問看護師、ヘルパーほか自宅環境等の条件が揃わないとできない場合もあります。
いざという時に見守りをしてもらえる友人や知人を作っておくこと、家族とも話し合いを重ね、意志を伝えておくこと、加えて信頼できるかかりつけ医を見つけておくことをお勧めします。

これまでのボランティア活動で出会った患者さんのなかに、今でも心に留めている大切な教えをいただいた方がいます。70代の女性の患者さんからでした。私が自宅で父親を看取ったことがある話をすると、家族に対してお礼を伝えたか尋ねられました。
主に私が父の介護をしていましたので、夫にお礼を言うことは考えもしていませんでしたが、嫌味も言わず同居してくれる夫の存在に気づかされました。父を看取ってから3年が経っていましたが、主人にお礼を伝え、以降出会う患者さん・ご家族には、今話せるうち、節目節目で「家族にお礼を言う事」の大切さを伝えています。

Event 催し物・イベントのご案内

クリニックからのお願い

感染症対策
～発熱時の受診について～

発熱もしくは風邪症状のある方は
お車の中で待機していただくか
こちらが指定した時間に
受診していただくことで
発熱や風邪症状のある方との接触を
できる限り避けるようにしています

発熱または風邪症状のある方は
まずはお電話にてご相談ください
受診できる時間や受診する方法について
ご案内いたします

にのさかクリニック
☎ 092-872-1136

症状や経過によっては、
他の医療機関へ受診をお願いする場合があります

定期の受診、その他の症状で受診される方は
できるだけ12時までの受診をおすすめします

皆様のご理解とご協力をお願いいたします

採用情報

医師・看護師を募集しています

“地域のかかりつけ医”として、患者さんやご家族の気持ちに寄り添いながら、共に働くスタッフを募集しています。
まずは、クリニックの見学・訪問診療の同行・毎週行っている勉強会への参加からでも構いません。

どうぞお気軽にお電話か当院のホームページにあります「問い合わせフォーム」からご連絡ください

にのさかクリニック TEL:092-872-1136

＜募集職種＞
・医　師（常勤・非常勤）
・看護師（常勤・パート）
右のQRコードから、採用情報をご覧戴けます。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9:00	午前	外来診療		訪問診療	外来診療		
13:00		昼休み	健康教室		昼休み		休診
14:00	午後	訪問診療			訪問診療		
17~18:00		※外来診療			※外来診療		

※　午後5：00～6：00の外来診療は、訪問診療の都合により診療開始時間が遅れる場合や診療ができないことがございます。診察をご希望の方は、事前にお電話いただけると幸いです。
※　健康教室はしばらくのあいだおやすみします。